

## 2-2-4 河道内樹木

- 上流から下流まで高水敷に連続して河道内樹木が繁茂しており、流下能力不足の要因となっている区間がある。
- 河道内樹木の維持管理においては、治水や環境上の機能や影響を考慮し、適正に管理する必要がある。

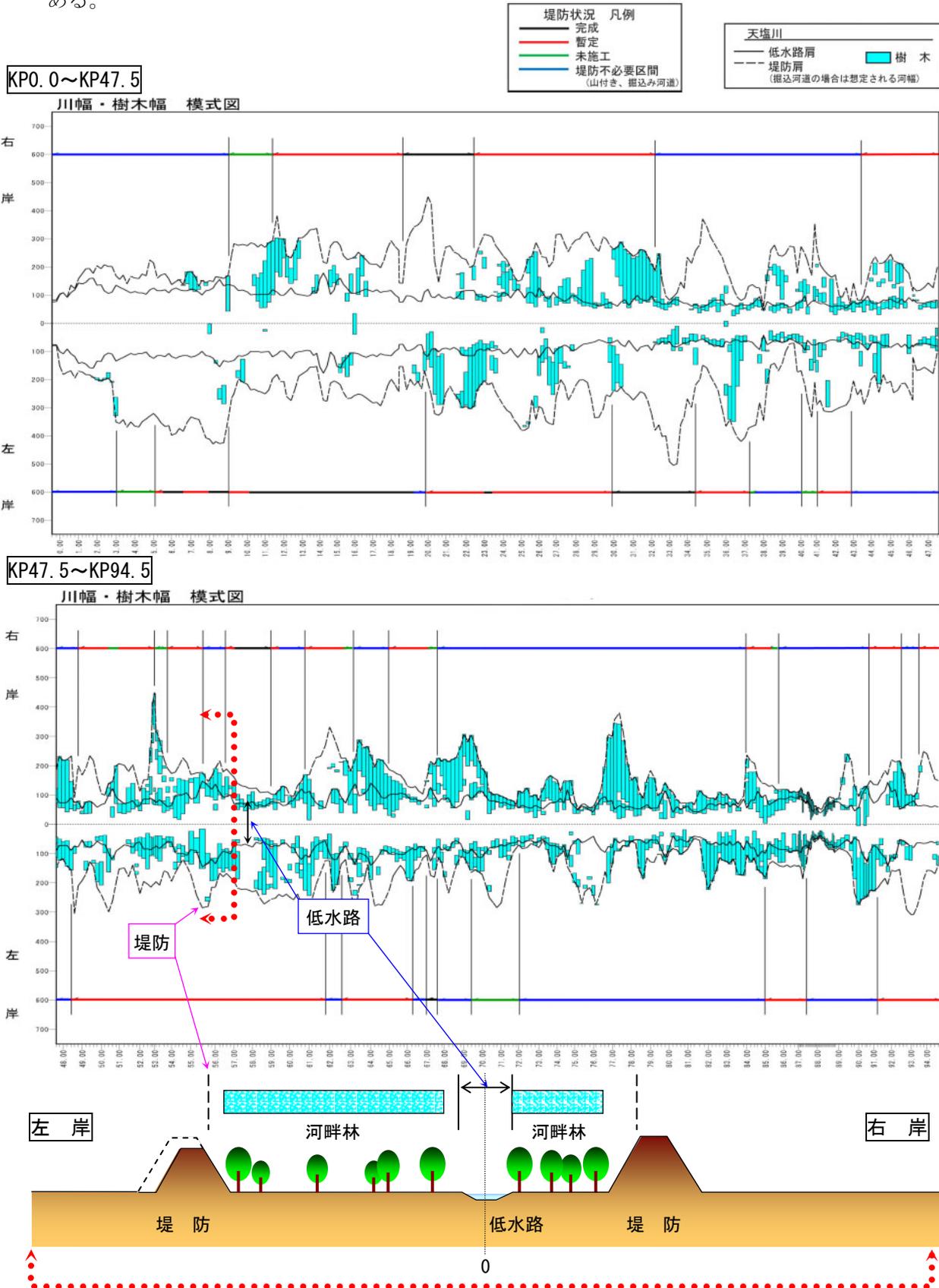


図 2-2-3(1) 樹木幅模式図【平成 13 年調査】

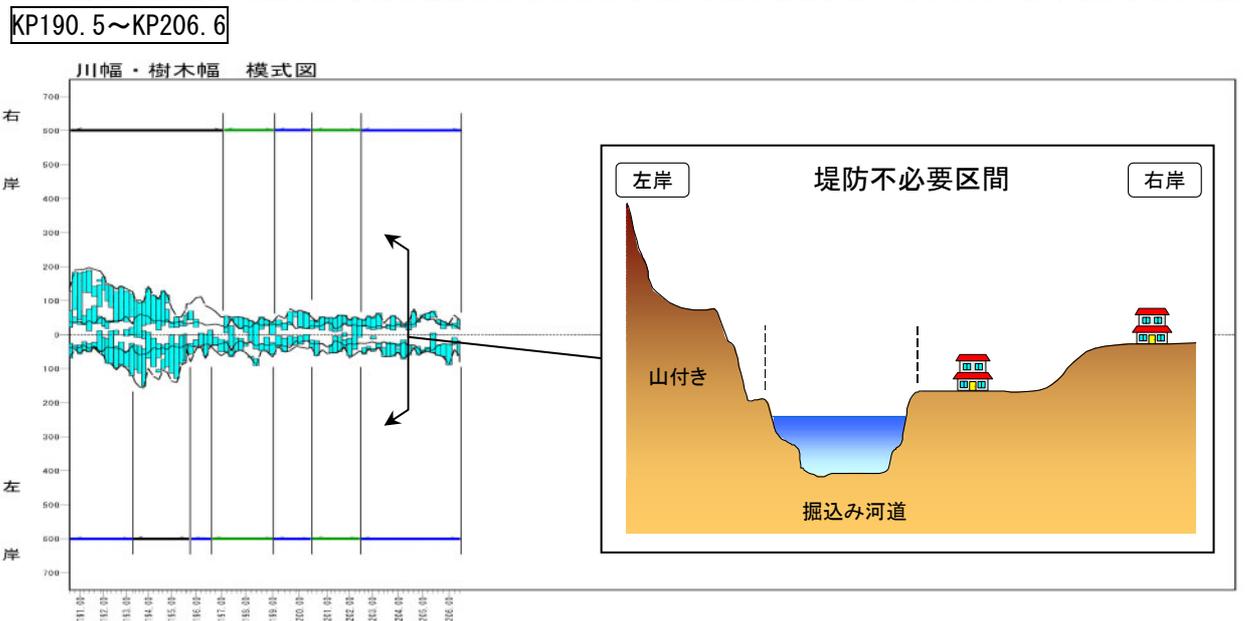
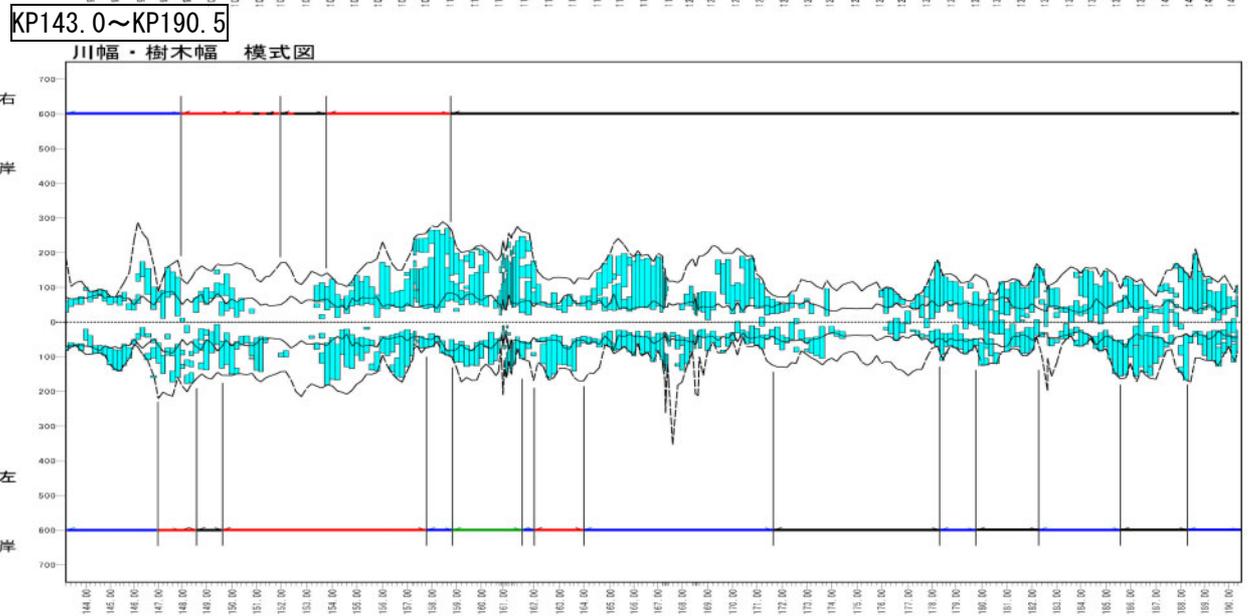
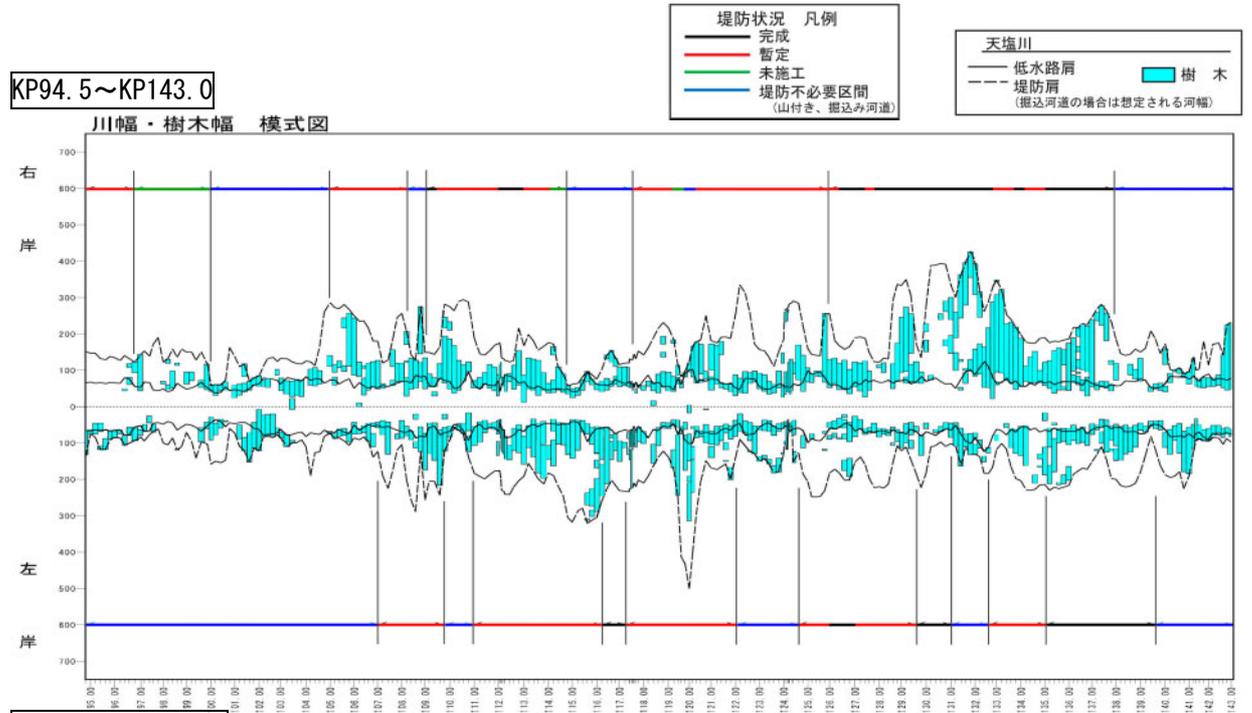


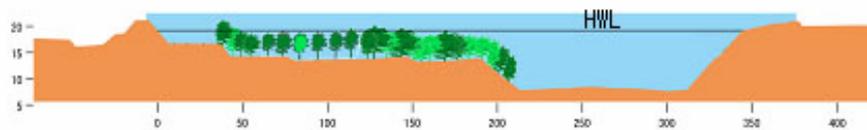
図 2-2-3(2) 樹木幅模式図【平成 13 年調査】

## 2-2-5 河道断面

天塩川においては、河道断面の不足や河道内樹木の影響により、多くの箇所では洪水を安全に流下させることができない状況にある。

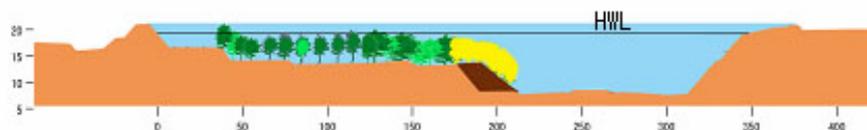
### ●KP60.6 付近

現時点



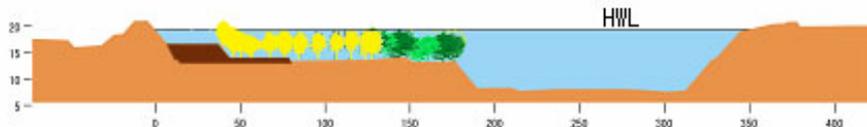
現況では河道断面の不足と河道内樹木の影響により、計画高水流量を安全に流下させることができません。

低水路掘削時



低水路掘削により洪水時の水位低下を図りますが、河道内樹木の影響があり、HWLを上回ります。

基本方針完了



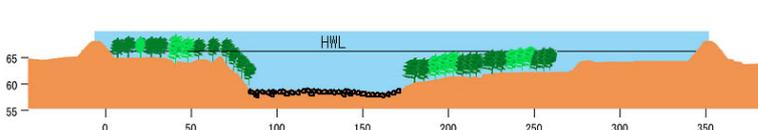
高水敷掘削と河道内樹木の部分伐採により、計画高水流量を安全に流下させることができます。  
(河道内樹木を保全するためには、高水敷や河道の掘削が必要となります。)

凡例： ■ 当地点に存在する樹木 ■ 掘削や部分伐採によりなくなる樹木 ■ 掘削箇所

図 2-2-4(1) 河道の掘削イメージ図

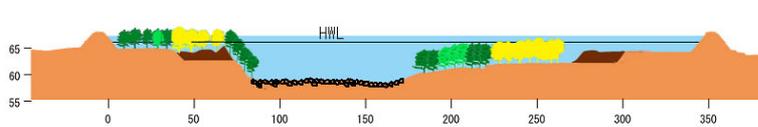
### ●KP118.4 付近 (テッシ付近)

現時点



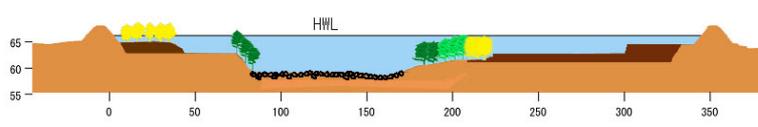
現況では河道断面の不足と河道内樹木の影響により、計画高水流量を安全に流下させることができません。

高水敷掘削時



高水敷掘削と河道内樹木の部分伐採により、洪水時の水位低下を図りますが、低水路断面の不足や河道内樹木の影響があり、HWLを上回ります。

基本方針完了



高水敷掘削と河道内樹木の部分伐採により水位低下を図り、計画高水流量を安全に流下させることができます。  
(河道内樹木及びテッシを保全するためには、高水敷掘削が必要となります。)

凡例： ■ 当地点に存在する樹木 ■ 掘削や部分伐採によりなくなる樹木 ■ 掘削箇所 テッシ

図 2-2-4(2) 河道の掘削イメージ図

2-2-6 治水施設の状況

(1) 堤防の整備状況

●堤防計画区間のうち完成しているのは約40%であり、完成断面の確保に向けた築堤整備が必要である。また、堤防の完成化に伴ない、一部で橋梁の架け替えが必要となる。

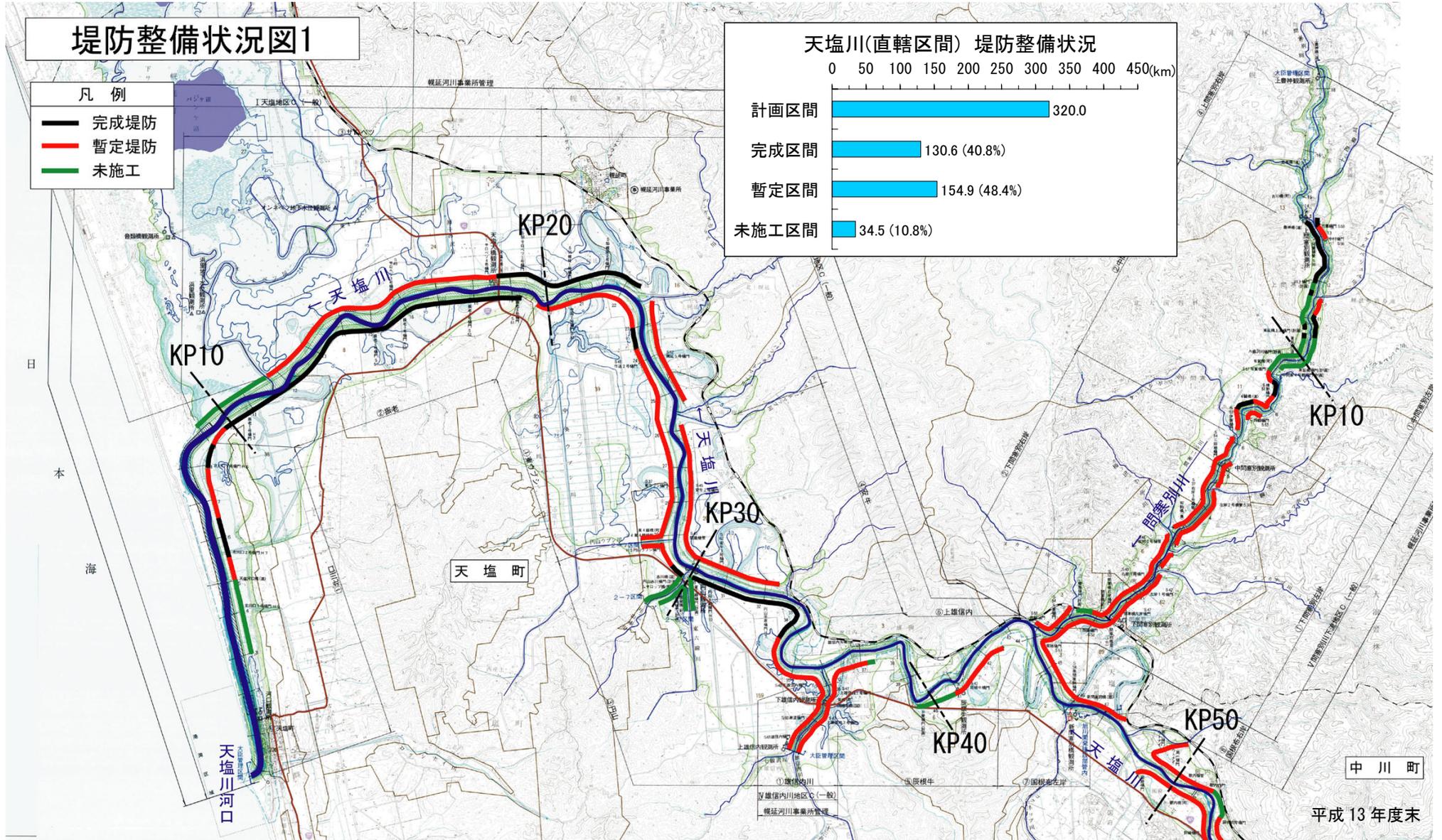


図 2-2-5(1) 天塩川堤防整備状況図

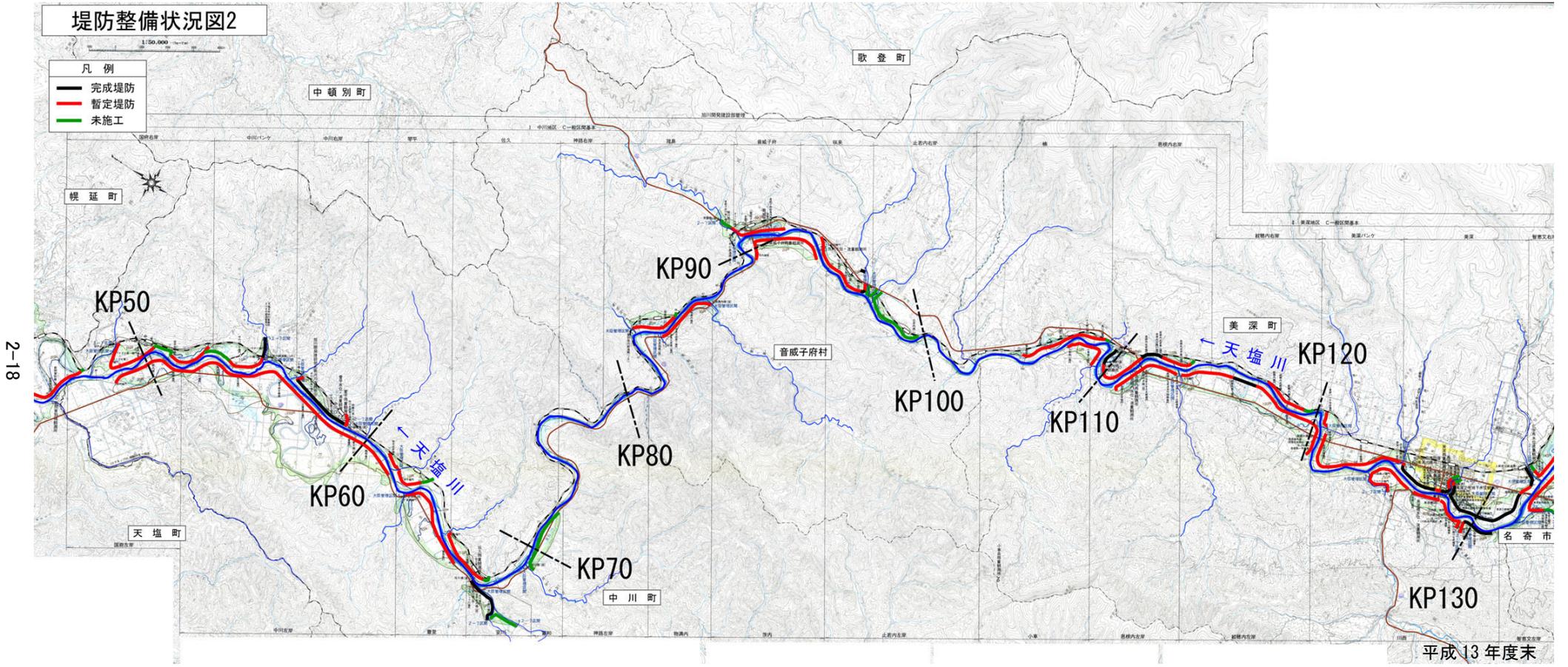


図 2-2-5(2) 天塩川堤防整備状況図

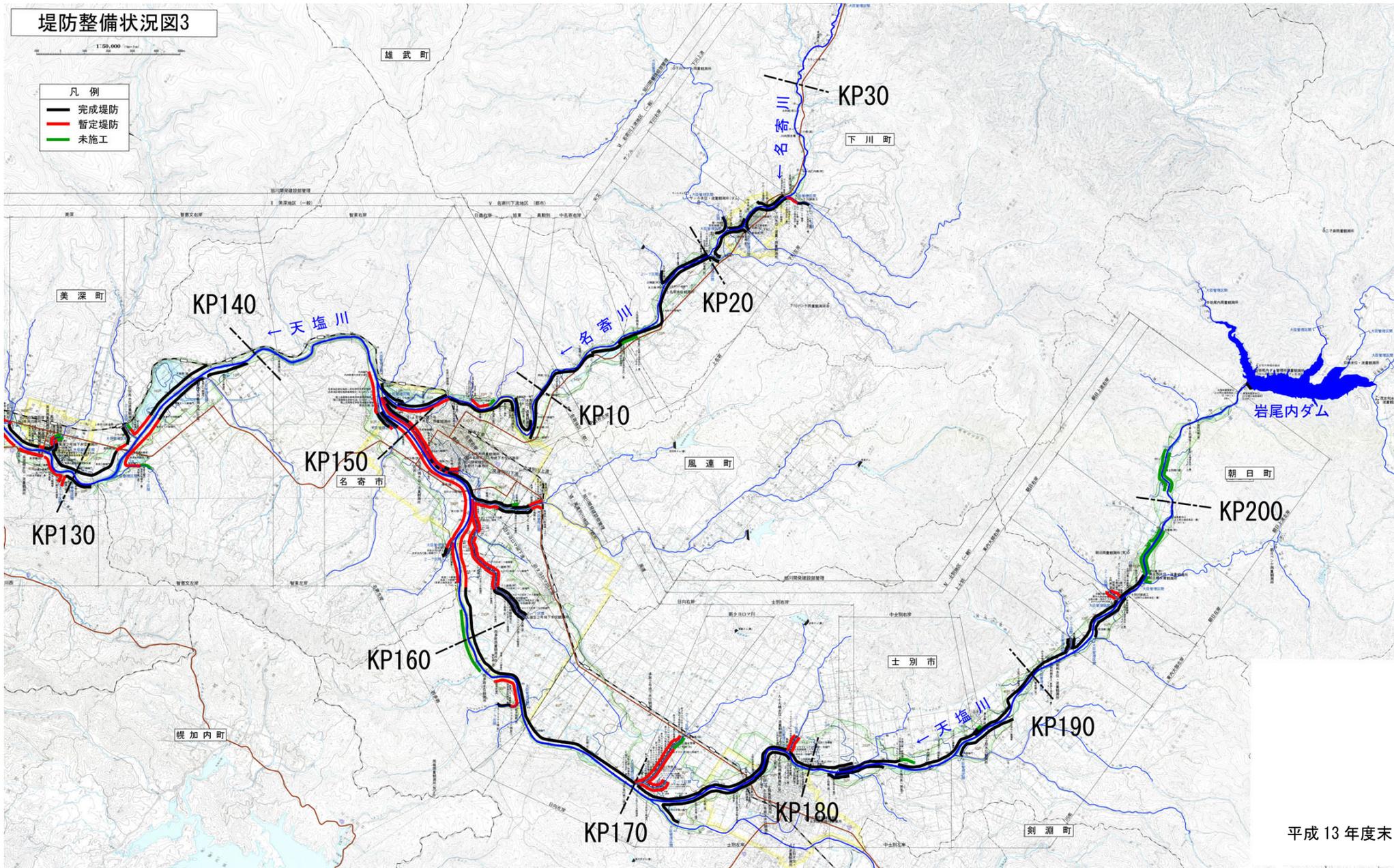


図 2-2-5 (3) 天塩川堤防整備状況図